

# 「堂々川；ホタルと花と砂留と・Ⅱ」

2024(令和6)年4月21日 堂々川ホタル同好会情報紙 2023年度第12号(創刊228号)

1. 4月定例会は4月21日 21名が参加されました。
2. 2023年度最後の会報です。

はっきりしない天気の下で、作業を行いました。今回21日の作業は堂々川河原・道路のゴミ拾い、5・6番砂留下流土手彼岸花植栽、1番砂留付近彼岸花植栽、寒水寺登り口付近枯れ木の片付けです。4月19日ホタル同好会は御野小学校の4年生56人のヒガンバナ球根植え付けとホタルのエサになるカワニナの放流のお手伝いをしました。4月16日堂々川に乗用車が転落しました。会員からの連絡で、中山会長が現場確認にゆき、レッカーでつり上げている場面に立ち会いました。

## 3. 目で見える事例



御野小学校4年生と彼岸花植栽



作業ミーティング



5番砂留付近彼岸花植栽



1番砂留付近彼岸花植栽



1番砂留付近彼岸花植栽



ゴミ拾い



寒水寺登り口付近枯れ木の片付け



メジロの巣



堂々川に乗用車が転落

## 4. 次の定例会

5月19日(日) 1番砂留駐車場に集合 8:00~11:00

福山東ロータリークラブと同時作業

作業内容: 川原残りの積み残した部分の草刈り整備と砂留の整備。ゴミ拾い

5. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 中山晋一

6. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される人は5月16日までにライン調整さんへ

# 文化庁登録有形文化財の堂々川の砂留の勉強資料

堂々川の中流域 8 基は文化庁国指定文化財です。現在全国 175 件が登録有形文化財として、登録された堰堤（砂留）です。堂々川の砂留は他地域では堰堤と呼ばれていますが福山藩では江戸時代築造物で住民は砂留と呼んでいます。



日本最古の 1 番砂留  
(奥の石積み手前は迫山砂留)

築造年代 1680 年代



2 番砂留

築造年代 1850 年代



3 番砂留

築造年代 1832 年頃



4 番砂留

築造年代 1850 年頃



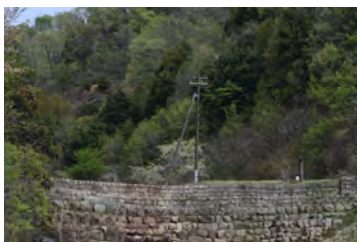
5 番砂留

築造年代 1835 年頃



6 番砂留

築造年代 基礎部 1700 年頃



鳶ヶ迫砂留

築造年代 1732 年池の堰堤として



内廣砂留（現在無管理状態）

築造年代 1850 年頃



迫山砂留（文化財ではない）

築造年明治 13 年 友道さん指揮！

先日内廣砂留に行きましたが我々が管理していないので草木が伸び放題。根が石垣にからみ、早晚崩れる可能性大です。この砂留に行くには堂々公園から山に 250m ほど入ります。数年前迄獣道がありましたが今は倒木や野茨が繁茂しています。またこの砂留の下方にも平成時代に砂留が造られています。詳しいことを調べたい人は「神辺の砂留」2018 年発刊、クラウドファンディングの返礼品として数量限定で発刊していますが絶版です。

砂留についての余談話です。① 6 番砂留他 3 番、5 番砂留には古墳の石?が使われています。重機の無い江戸時代、山からこれらの石をどのようにして運んだか興味津々です。② 5 番砂留などには甌穴と言う水と砂が作った丸い穴が見られます。③ 砂留は砂が山から流れて田畑に入らないようにそれらを保護するために造られました。たかが砂と思われるでしょうが一雨でダンプトラック 1 台分の砂が砂留川原に流れ込んでいます。これらを下流に行かないように考えられて作られたものです。砂留を守る為にもボランティア活動は必要です。これからもよろしく！